

22. Windows 11のインストール

22-1▶

USBメモリでインストール

▶Windows 11 リテール版のUSBメモリや、自身で作成したインストール用USBメモリをPCのUSBポートに挿し込み、インストールウィザードを起動する。



22-2▶

ウィザードに従って進めよう

▶指示に沿ってインストールを進めよう。インストールするストレージを選択する画面では、デフォルト(ディスク0)のまま「次へ(N)」をクリックして進めよう。



22-3▶ ネット接続が必須



◀Windows 11は、インストール時にネットワーク接続が必要となる。標準ドライバーで動作しない有線/無線LANの場合、手動でドライバーを導入する必要がある。



有線/無線LANドライバーを用意

AMD graphics ドライバー バージョン:24.30.66.250610a
MediaTek 無線 LAN ドライバーバージョン:3.4.0.1304
ASRock Motherboard Utility バージョン:4.1.36

▶マザーボードのサポートウェブサイトから、LANドライバーをダウンロード。解凍後、USBメモリに保存しておこう。

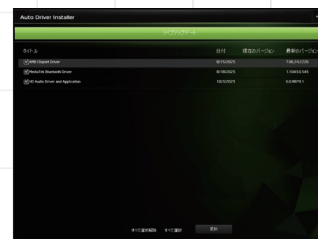


22-4▶ インストールが完了



◀必須となる「Microsoftアカウント」の新規作成、既存アカウントの入力など、ウィザードに従って進めれば、Windows 11のインストールは完了する。

22-5 最新ドライバーを自動で導入



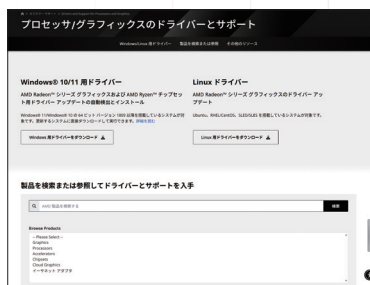
◀OS初回起動時に、「Auto Driver Installer」を導入しよう。必要となるドライバーを自動で検索、導入するので安心だ。

CHECK! AMDの最新ドライバーを導入しよう



最新バージョンをダウンロード

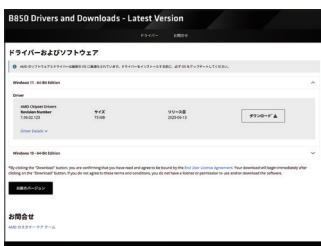
◀AMDウェブ※1の「リソース&サポート」[ダウンロード]の「Radeonグラフィックス & AMD チップセット」にある「ドライバー」をクリックする。



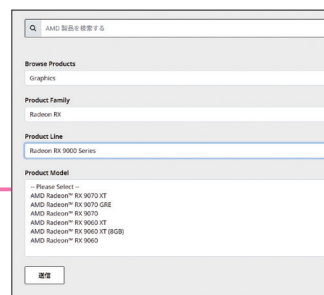
適切なドライバーを検索する

◀「Graphics」と「Chipsets」で、ビデオカードのGPU型番や、マザーボードのCPUソケット形状などを選択していくと、適切なドライバーが表示される。

ドライバーを保存する

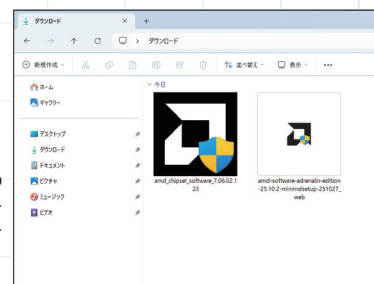


◀CPUの動作にも影響するチップセットドライバー「AMD Chipset Drivers」などをダウンロード。



2つの.exeファイルを実行しよう

▶ダウンロードした「amd_chipset_software_~.exe」と「amd-software-adrenalin-edition-~.exe」を実行。ウィザードに従ってインストールする。



※1 <https://www.amd.com/ja>